

Ver.5.15 バージョンアップ情報(2017/08/21)

LandForms シリーズ(Ver.5.15)の主な変更点は以下のとおりです。

詳細は次ページ以降をご参照ください。

「地上レーザスキャナを用いた 公共測量マニュアル (案)」 対応する機能の追加

- ・ 準拠した桁数でのデータの読込/出力
- ・ ブレークライン作成
- ・ 数値図化コード対応

読込・出力機能の拡充

- ・ TS 出来形 XML ファイル (読込/出力)
- ・ LAS ファイル (読込/出力)
- ・ CL3[※]ファイル (読込)
※トプコンオリジナルフォーマット

配布用データセットの自動作成 (GeoView)

ビューとデータを含むファイルセットが
簡単な手順で作成可能

トンネル展開機能内 「重複点チェック」の スピードアップ

地形の重複点チェックと同様の高速アルゴ
リズムに対応

出来形管理

出来形良否判定情報を最新[※]の出来形管理要
領(土工編)の仕様に対応

※平成 29 年 3 月公開

その他不具合修正

「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル（案）」に対応する機能追加

● 数値図化コードに対応

数値図化コードに対応したポリラインを作成し保存します。(ベクトル作成)

作成したデータを、TraceMaster® MultiX 等で読み込むと数値図化コードに対応した図面が作成されます。

参照：第 1 3 条 第 4 項 地図情報レベルごとの地図項目の取得分類基準、数値地形図データのファイル仕様、数値地形図データファイル説明書、分類コード等は、準則付録 7 を適用することができる。



LandForms 上での作業の流れ

ベクトル作成で「数値図化ライン」を選択

→数値図化コード表からコードを選択

→ラインを作成

→保存(DXF 形式)

(数値図化コードはレイヤ名に反映)

保存した DXF を TraceMaster® MultiX 等で読み込むと、図面が作成されます。

※TraceMaster® MultiX はピー・エス・トラスト社の製品です。

数値図化コード属性を
持ったポリラインを作成

● 準拠した桁数でのデータの読込/出力

座標値をセンチメートル単位に桁を丸めて読込/出力が可能です。

参照：第 3 8 条 第 1 項 数値図化における地上座標値は、0. 0 1メートル位とする。

読込		<p>「外部データ読込」からファイルを読み込み時、 「数値図化用に座標値の桁を丸める」にチェックします。</p> <p>以下のデータタイプで可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストファイル(複数可) XYZIRGB ・ランダムファイル(複数可) ・カスタムテキストファイル(複数可)
出力		<p>「ランダムデータ外部出力」→「ランダム点テキスト出力」から ファイル出力時、「数値図化用に座標値の桁を丸める」にチェックします。</p>

● ブレークライン作成機能

ブレークライン上に補間点を作成し、三角網計算を行います。

参照：第 7 2 条 第 2 項 必要に応じて傾斜変換線を追加できるものとする。

三角網メニュー
「ブレークライン作成」

2点を指定
ブレークラインを引く

ラインと三角網の交点に補間点を作成
三角網計算

読込・出力機能の拡充

● TS 出来形 XML ファイル

TS 出来形 XML ファイルの、道路中心線形・出来形横断面・現況横断線情報等の読込/出力を行います。

	<p>横断方向が 確定できる データ</p>		<p>横断計画のファイルメニュー 「TS 出来形 XML 読み込み」</p>
<p>読込</p>	<p>横断方向が 確定できない データ</p>		<p>ファイルメニュー→「縦横断」 「TS 出来形 XML(路線)読込」 横断計画で読み込む前に、 路線データを作成する必要があります。 道路中心線の作成方法※によって 路線データ作成手順が若干異なります。 ※IP 法 or 要素法</p>
	<p>出力</p>		<p>横断計画のファイルメニュー 「TS 出来形 XML 出力」</p>

● LAS ファイル

LAS 形式データの読込/出力を行います。(GeoForm)

● CL3 ファイル

トプコンオリジナルフォーマットの読込を行います。
(GeoForm)

	読込	出力
LAS ファイル	外部データ読込	ランダムデータ 外部出力
CL 3 ファイル		

配布用データセットの自動作成

「GeoView 配布用データ作成(旧 GeoView データ保存)」 ※メニュー名変更

GeoView 配布用データセットが簡単な手順で自動作成可能になりました。

	作成されるデータ	配布用 CD 作成方法
新： GeoView 配布用データ作成	下記のファイルセット <ul style="list-style-type: none"> ・ビューアアプリ ・地形データ ・表示パラメータファイル ・その他選択した要素ファイル (テキストフラグ、縦横断、DXF など) ・自動再生用システムファイル ・アプリ起動用ランタイム 	ファイルセットを CD へコピー
旧： GeoView データ保存	<ul style="list-style-type: none"> ・地形データ ・表示パラメータファイル 	左のデータ以外に、ビューアアプリ、要素ファイルなどを揃えて CD へコピー 自動再生用システムファイルの作成が必要

トンネル展開 重複点チェックのスピードアップ

地形データの重複点チェックと同じ高速アルゴリズムに対応しました。

出来形管理

出来形良否判定情報を最新※の出来形管理要領(土工編)の仕様に対応しました。 ※平成 29 年 3 月公開

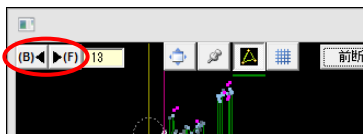
平均値：棄却点を除く平均値



最大値：棄却点を除く最大

最小値：棄却点を除く最小

その他 追加・変更・修正**追加**

- **GeoForm**
 - ・「座標変換ユーティリティ」
ランダムデータ、CSV データ変換時の標高変更で比高を指定できるように対応
- **ビデオ鳥瞰**
 - ・「配布用データセット作成」：データセット内容に計画ファイルを追加
- **DATA Cleaner**
 - ・「断面ダイアログ」：マウス・キーボード操作での断面移動に対応



キーボード	マウス
「F」キー：次の断面へ移動 「B」キー：前の断面へ移動	次の断面へ移動 →  前の断面へ移動 →  ※5 ボタンマウスでサイドボタン使用の例 機種によっては対応するボタンが異なります

変更

- **共通**
 - ・読み込み可能な BMP ファイルサイズを変更。
現在：横幅 8,192 ピクセルまで → 変更後：無制限(メモリ容量の許す限り読み込み可能)

修正

- **GeoForm**
 - ・「外部データ読込」
LandXML ファイルの半角カタカナのデータ名が正しく読み込めない
- **ビデオ鳥瞰**
 - ・「座標設定」
マウスのホイールボタンで上下角を増加させると画面が固まる
 - ・「オブジェクト設定」
X モデルのランダム点/DXF 出力時に、土台面と誤認識された面が出力されない
- **横断計画**
 - ・「連続処理」
「左盛法」の欄にキー入力すると、どのような値を入力しても「---」(変化なし)が登録される